

令和4年度 青森市自動車運送事業経営戦略フォローアップ～取組について～

施策	区分	内容	R4実績	今後の取組方針	R5 主な取組
1 安心して信頼のあるサービスの提供	(1) 安全運 行の推進	交通事業者の最大の使命である輸送の安全確保に向けて、お客様が安心して目的地まで移動できるように、下記事項に取り組み、安全運転の徹底を図ります。 ①安全運転マネジメントの強化 ②エコドライブの推進 ③運転研修の充実	①安全運転マネジメントの強化 ○【 拡充 】安全運転マネジメントの強化 運輸安全マネジメント委員会（年3回開催）において、ドライブレコーダーに記録された実際の事故等の映像等を活用し、事故原因の分析及び事故防止対策の検討等を行い、安全対策の強化を図りました。 ○【 新規 】 脳血管疾患検査料助成の実施(正職員・再任用[フルタイム]) 乗務員の脳血管疾患に関する健康管理のため、検査費用を助成し、必要な検査や治療につなげることで、健康起因事故の防止を図りました。 (助成額上限6,500円/56人助成) ○感染症拡大防止対策の徹底 ②エコドライブの推進 ふんわりアクセルによる緩やかな発進など、ゆとりある安全運転を実施する「エコD E安心ドライブ」を推進するため、エコドライブ強化月間（8月）を実施したほか、日常的な乗務指導等を行いました。 ③運転研修の充実 ドライブレコーダーの記録映像を活用し、実際の映像による乗務員研修や乗務指導を実施するなど、運転研修の充実を図りました。 ※実施人数：124人	①安全運転マネジメントの強化 ○ドライブレコーダーの映像等を活用し、安全運転マネジメントを更に強化します。 ○全国的に、疾病により事業用自動車の運転を継続できなくなる事例が増加していることから、健康起因事故を防止するための取組を強化します。 ○感染症感染拡大防止対策を徹底します。 ②エコドライブの推進 ドライブレコーダーの映像等も活用しながら、引き続き「エコD E安心ドライブ」の推進に取り組みます。 ③運転研修の充実 実際の映像等を使用した研修を実施し、乗務員の安全意識の向上等が図られたことから、引き続き、ドライブレコーダーを活用した運転研修の充実に努めます。	①安全運転マネジメントの強化 ○安全運転マネジメント委員会 運輸安全マネジメント委員会(年3回:5月、11月、3月)を開催し、引き続き、安全対策の強化を図ります。 ○脳血管疾患検査料助成の実施(再任用[ショート]・会計年度任用職員) 乗務員の脳血管疾患に関する健康管理のため、検査費用を助成し、必要な検査や治療につなげることで、健康起因事故の防止を図ります。 (助成額上限9,270円/75人対象) ○感染症拡大防止対策の徹底 ②エコドライブの推進 【 拡充 】「 エコD E安心ドライブ 」を 通年で実施 します。 安全運転日報による指導を実施します。 ③運転研修の充実 危険予知トレーニングを実施します。 ヒヤリハットの抽出、事後検証からの安全指導を実施します。
	(2) バリアフ リー化の推進	高齢化やノーマライゼーションの進展にあわせ、バスの乗降に不安を抱えている高齢者や障がいのある方などが、安全・安心にご利用できるよう、以下の事項に取り組み、ハード・ソフト一体となったバリアフリー化をより一層推進します。 ①ノンステップバスの拡充 ②車椅子対応の向上 ③サービス介助知識等の習得	①ノンステップバスの拡充 ○ノンステップバスの拡充（8両導入） ※低床バス導入割合：88.6% ②車椅子対応の向上 車椅子対応の向上を図るため、スキルアップ研修を実施するとともに、関係者と意見交換等を行いました。 ※実施人数：130人 ③サービス介助知識等の習得 サービス介助士の資格を習得した職員の指導により、介助等の専門知識を習得した乗務員等の育成を図りました。	①ノンステップバスの拡充 バスの乗降に不安を抱えている方が、全ての車両で利用しやすくなるよう、ノンステップバス導入の拡充を図ります。 ②車椅子対応の向上 スキルアップ研修を実施するとともに、関係者との意見交換等を行いながら、車椅子対応の向上を図ります。 ③サービス介助知識等の習得 おもてなしの心と実践的な介助技術を習得した乗務員の育成に取り組みます。	①ノンステップバスの拡充 ○ノンステップバスの拡充（10両導入予定） ※低床バス導入割合：96.4% ②車椅子対応の向上 スキルアップ研修を実施します。 ③サービス介助知識等の習得 サービス介助知識を反映した研修を実施します。

令和4年度 青森市自動車運送事業経営戦略フォローアップ～取組について～

施策	区分	内容	R4実績	今後の取組方針	R5 主な取組
1 安心して信頼のあるサービスの提供	(3) 危機管理対応の強化	新型コロナウイルス感染症をはじめ、地震、風水害などの自然災害、テロや悪質・危険運転などによる事件・事故の発生など、リスクの多様化に対応し、乗客・乗務員の安全確保と、公共交通機関としての事業継続を図るため、以下の事項に取り組み、危機管理対策の強化を図ります。 ①事故・交通トラブル発生時の安全確保 ②災害時の対応強化 ③非常時の対応強化	①事故・交通トラブル発生時の安全確保 市営バス全車両にドライブレコーダーを導入し車内の防犯性を高めるとともに、救命救急講習会への参加などを行いました。 ②災害時の対応強化 地震・風水害時の対応や連絡体制を見直したほか、災害時対応の訓練や研修等を実施し、災害時への備えを行いました。 ③非常時の対応強化 新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、感染症等非常時の対応や連絡体制を再構築したほか、テロ対策の訓練に参加するなど、非常時への備えを行いました。 ○危機管理マニュアルの改訂 ○【新規】 浸水対策訓練の実施 大雨で野内川が増水したことによる東部営業所への浸水発生を想定し、バス車両の避難等の訓練を実施します。 ○テロ対策訓練やバスジャック訓練へ参加	①事故・交通トラブル発生時の安全確保 引き続き、ドライブレコーダーを活用した車内の防犯性向上に取り組むなど、事故・交通トラブル発生時の安全確保に努めます。 ②災害時の対応強化 ③非常時の対応強化 近年激甚化している地震、風水害などの自然災害、降雪による災害、テロや悪質・危険運転などのリスクの多様化に対応するため、危機管理体制の強化を図ります。	①事故・交通トラブル発生時の安全確保 ドライブレコーダーの車内設置及び周知により車内の防犯性向上のための取組を実施します。 ②災害時の対応強化 ③非常時の対応強化 ○浸水対策訓練の実施 大雨で野内川が増水したことによる東部営業所への浸水発生を想定し、バス車両の避難等の訓練を実施します。 ○テロ対策訓練やバスジャック訓練へ参加
	(4) 定時性の確保	季節等による交通環境の変化に対応し、信頼できる公共交通機関としての役割を果たせるよう、以下の事項に取り組み、定時性の確保に努めます。 ①雪国あおもりのダイヤ編成 ②遅延運行の改善 ③交通関係機関との連携	①雪国あおもりのダイヤ編成 雪国としての地域特性を踏まえた冬ダイヤの設定など、季節毎の環境変化に対応した「2シーズン制（夏・冬）ダイヤ」を実施しました。 ※夏ダイヤ：137ダイヤ、871便、冬ダイヤ：146ダイヤ、882便 ②遅延運行の改善 遅延便に係る運行を検証し、見直しを行いました。 ③交通関係機関との連携 バス路線の除排雪の充実を促進するため、道路管理者等に対し降雪状況の情報提供体制等について、交通関係機関との連携を強化しました。	①雪国あおもりのダイヤ編成 ②遅延運行の改善 遅延などのデータ分析・検証・見直しを行ったうえでダイヤを編成し、定時性の確保に努めます。 ③交通関係機関との連携 特に冬期間における定時性の確保に向け、交通関係機関と連携して取り組みます。	①雪国あおもりのダイヤ編成 ②遅延運行の改善 昨年度と同様の運行規模で2シーズン制ダイヤを実施するなど、定時性の確保に努めます。 ※夏ダイヤ：137ダイヤ、871便 冬ダイヤ：146ダイヤ、882便 ○【新規】 R5.3月から本格運用しているバスロケーションシステムの運行データを活用し、これまでより精度の高いデータ分析を行ったうえでダイヤ編成を実施します。 ③交通関係機関との連携 道路管理者と連携して、冬期間、スタック等により走行不能となったバスを救出する体制を構築するなど、交通関係機関との連携により、運行体制や定時性の確保に努めます。
	(5) バス待ち・乗車環境の向上	お客様がより快適な環境で安心してバスを利用できるよう、バス待ち・乗車環境の向上を図るため、以下の事項に取り組み、これまで以上に利用しやすい環境整備に努めます。 ①バス待ち環境の整備 ②接遇マナーの向上	①バス待ち環境の整備 お客様を風や雨雪から守るためのバス待合所等の整備を行いました。 ※バス待合所の整備（岡造道一丁目） ソーラー照明付バス停留所標識の整備（新城駅前） ○【新規】 デジタルサイネージの設置 市役所本庁舎、駅前庁舎及び青森駅前売売所にバスの発車時刻や遅延等の情報を表示するデジタルサイネージを設置し、市庁舎利用者や観光客等のバス待ち環境の向上を図りました。 ②接遇マナーの向上 乗務員研修や苦情発生時において、ドライブレコーダーの映像を活用した指導を行うなど、接遇向上に努めました。	①バス待ち環境の整備 バス待合所の改築等を進めるほか、新たに、デジタル技術を活用したバス待ち環境整備を進めます。 ②接遇マナーの向上 乗務員研修や苦情発生時において、ドライブレコーダーの映像を活用した指導を行うなど、接遇向上に努めます。	①バス待ち環境の整備 平成29年度から令和2年度まで、バスまち空間向上事業として、既存バス待合所の改修や、比較的用户が多いバス停への新設を行うなど、バス待ち環境の向上を図ってきた。今後は、既存の待合所等の更新や、修繕を実施し、その機能の維持に努めます。 ○バス待合所等の整備 バス待合所の整備（県庁前） ソーラー照明付バス停留所標識の整備（野木和団地） ②接遇マナーの向上 乗務員研修や苦情発生時において、ドライブレコーダーの映像を活用した指導を強化し、接遇マナーの向上に取り組みます。

令和4年度 青森市自動車運送事業経営戦略フォローアップ～取組について～

施策	区分	内容	R4実績	今後の取組方針	R5 主な取組
2 ニーズに対応したサービスの提供	(1) 利用状況に応じたダイヤ編成	お客様の利用状況や多様なニーズの把握に努め、より利便性が高く効率的な運行を実施するため、以下の事項に取り組み、運行の適正化を図ります。 ①通勤・通学ダイヤの強化 ②買い物・通院ダイヤの強化 ③観光・レジャーへの対応強化 ④交通結節点等との連携強化	①通勤・通学ダイヤの強化 ②買い物・通院ダイヤの強化 ③観光・レジャーへの対応強化 通学ダイヤについて、市内高校に利用状況や希望を調査するなど、潜在的なニーズの把握に努め、ダイヤ編成を実施しました。 ④交通結節点等との連携強化 ○【新規】青森駅西口駅前広場の乗り入れ 青森駅西口駅前広場の交通ターミナル機能を活かし、北部方面・西部方面の利便性の高いダイヤを編成しました。 ※令和5年夏ダイヤから実施済（R5.3.22改正）	①通勤・通学のダイヤ強化 ②買い物・通院ダイヤの強化 ③観光・レジャーへの対応強化 運行効率と利便性の向上を図るため、お客様の利用状況や多様なニーズの把握に努め、ダイヤ編成を実施します。 ④交通結節点等との連携強化 交通ターミナル機能を活かしたダイヤ編成を検討します。	①通勤・通学のダイヤ強化 ②買い物・通院ダイヤの強化 ③観光・レジャーへの対応強化 通勤・通学ダイヤや通院ダイヤについて、利用動向の調査を実施するなどニーズの把握に努め、ダイヤ編成を実施します。 ④交通結節点等との連携強化 西口駅前広場の交通ターミナル機能を活かしたダイヤ編成を検討します。
	(2) ICTを活用したサービス向上	情報通信技術の進展等に伴い、交通サービスへの活用が活発化しており、お客様がより安心して、便利にバスを利用できるよう、以下の事項に取り組み、情報通信技術の活用によるサービスの利便向上を図ります。 ①キャッシュレス化の推進 ②運行情報の充実 ③情報のオープン化	①キャッシュレス化の推進 ホームページ、広報あおり等のほか、イベントへの参加等様々な機会を通じて、「AOPASS」の普及促進を図りました。 ※イベント参加 ・9月 バスの日まつり ②運行情報の充実 ○【新規】バスロケーションシステムの導入 バス利用者の利便性向上を図るため、スマートフォン等を使用して乗車予定のバスの位置や遅延などの運行状況がリアルタイムで把握できるバスロケーションシステムを導入しました。 ※令和4年12月 5日 試験運用開始 令和5年 3月22日 本格運用開始 ○【新規】あおりマイ時刻表の運用開始 バスロケーションシステムのリアルタイムデータを活用した、新たな時刻表「あおりマイ時刻表」を導入しました。 ※令和5年3月22日 運用開始 ③情報のオープン化 ○【拡充】バスロケーションデータのオープン化 これまでのGTFS-JPに加え、バスロケーションシステムのリアルタイムデータ「GTFS-RT」のオープン化を実施しました。（R4.12.5）	①キャッシュレス化の推進 観光需要の回復に向けた受入環境整備のため、「AOPASS」の普及促進を図ることにより、車内におけるキャッシュレス化を推進します。 ②運行情報の充実 ICT（情報通信技術）の進展に伴い、デジタル技術を活用した運行情報の更なる充実を図るため、導入データを活用し、利便性向上を図ります。 ③情報のオープン化 地域公共交通の更なる利便性向上を図るため、オープン化する運行情報を拡充します。	①キャッシュレス化の推進 各種イベントへ参加し、「AOPASS」のPRを行い、キャッシュレス化の推進に努めます。 ②運行情報の充実 ○【拡充】リアルタイムデータの運用・管理 バスロケーションシステムに各種臨時便情報を導入します。 ③情報のオープン化 ○【拡充】バスロケーションデータのオープン化 バスロケーションシステムのデータを活用し、新たに臨時便等を含めたバスの位置や遅延等のデータのオープン化に取り組みます。
	(3) 料金のあり方の検討	利用者の確保やサービス向上に向け、利用に応じてポイントを付与する新たなサービスの導入を進めるとともに、運賃制度の見直しなど、料金のあり方について検討します。 ①利用ポイント制の導入 ②運賃制度などの検討	①利用ポイント制の導入 ホームページ、広報あおり等のほか、イベントへの参加等、様々な機会を通じて、「AOPASS」及び利用ポイント制度の周知を図りました。 ※イベント参加 ・9月 バスの日まつり ②運賃制度などの検討 「AOPASS」の利用状況や他事業者の動向等を調査するとともに、「AOPASS」の機能を活用したサービスの導入可能性について調査・検討を進めました。	①利用ポイント制の導入 利用促進を図るため、引き続き「AOPASS」の交通ポイント制度を周知するための活動に取り組みます。 ②運賃制度などの検討 利用促進を図るため、引き続き「AOPASS」の新サービスを周知するための活動に取り組むとともに、利用者のニーズに対応した運賃制度などの見直しについて、検討を進めます。	①利用ポイント制の導入 ホームページ、広報あおり等のほか、イベントへの参加等、様々な機会を通じて、「AOPASS」及び利用ポイント制度の周知に努めます。 ②運賃制度などの検討 「AOPASS」の利用状況や他事業者の動向等を調査するとともに、「AOPASS」の機能を活用したサービスの導入可能性について調査・検討を進めます。

令和4年度 青森市自動車運送事業経営戦略フォローアップ～取組について～

施策	区分	内容	R4実績	今後の取組方針	R5 主な取組
3 効率的で持続性のある経営基盤の構築	(1) 経費の抑制	厳しい経営環境を踏まえ、一層の経営効率化を図るため、以下の事項に取り組み、経費の抑制に努めます。 ①人件費の適正化 ②車両・施設管理マネジメントの推進 ③運行の効率化	①人件費の適正化 正職員の退職者不補充を継続するとともに、委託運行を推進し、人件費の適正化に努めました。 ②車両・施設管理マネジメントの推進 中古車両による車両を3両更新しました。 ③運行の効率化 青森駅西口駅前広場の供用開始に合わせ、西口駅前広場のターミナル機能を活用し、効率的なダイヤ編成に取り組みました。	①人件費の適正化 厳しい経営環境を踏まえ、引き続き、人件費の適正化に努めます。 ②車両・施設管理マネジメントの推進 中長期的な視点を踏まえ、計画的に更新・改修等を行います。 ③運行の効率化 利用動向を踏まえた効率的なダイヤ編成に向けた見直しを行うなど、運行の効率化を図ります。 【課題・検討事項】 ○大型二種免許取得者の新規取得者の減少及び高齢化 ○バス運転者の労働時間改善の基準改正	①人件費の適正化 厳しい経営環境を踏まえ、人件費の適正化に努めるための取組を進めます。 ②車両・施設管理マネジメントの推進 中古車による車両を5両更新しました。 ③運行の効率化 青森駅西口駅前広場の供用開始に合わせ、効率的なダイヤ編成に向けた見直しを行い、運行の効率化に努めます。
	(2) 広告事業等の強化	安定した収入の確保を図るため、以下の事項に取り組み、広告収入などの運送収益以外の収入の増加を図ります。 ①広告事業の強化 ②保有資産の有効活用	①広告事業の強化 ○【新規】運賃表示器及びデジタルサイネージを活用した広告事業 「AOPASS」のサービス開始に伴い更新した運賃表示器及びバスロケーションシステムの試験運用開始に合わせ導入したデジタルサイネージを活用し、次年度からの本格的な事業開始に向け、試験的に広告掲出を実施しました。 ②保有資産の有効活用 保有資産の利用状況を点検し、短期的な使用許可を行うなど有効活用に取り組めました。	①広告事業の強化 広告収入を確保するため、広告のPRなど営業活動の効果的な実施に取り組みます。 ②保有資産の有効活用 社会環境の変化等を注視しながら、資産の有効活用を図ります。	①広告事業の強化 安定した収入の確保を図るため、効果的な営業活動を実施に努めます。 ②保有資産の有効活用 保有資産の利用状況を点検し、資産の有効活用に取り組めます。
	(3) 民間活力の活用推進	公共交通の維持と効率的で持続性のある経営基盤の構築のために、民間活力の活用を推進します。 ①委託運行の推進 ②市バス等との連携	①委託運行の推進 将来の効率的で安定した運行体制の構築に向け、地域の民間交通事業者と連携し、委託運行を実施しました。 ※委託ダイヤ数 (夏) 20ダイヤ (冬) 28ダイヤ ②市バス等との連携 バスロケーションシステムについて、市バスやねぶたん号と連携した運用の実現可能性について、関係機関等と協議を行い、検討しました。	①委託運行の推進 効率的で安定した運行体制に向け、民間活力を活用し、委託運行の推進に取り組めます。 ②市バス等との連携 バスロケーションシステムについて、市バスやねぶたん号と連携した運用に取り組めます。	①委託運行の推進 地域の民間交通事業者との連携により、委託運行を実施します。 ※委託ダイヤ数 (夏) 30ダイヤ (冬) 31ダイヤ ②市バス等との連携 ○【新規】バスロケーションシステムの連携 バスロケーションシステムについて、市バスやねぶたん号と連携した運用の実現可能性について、関係機関等と協議を行い、導入します。
	(4) 人材確保の強化	全国的にバス運転乗務員等の人材不足が課題となっている中、安定した運行体制を維持していくため、以下の事項に取り組み、人材確保等の強化を図ります。 ①新たな雇用形態の実施 ②若年・女性人材の確保・育成	①新たな雇用形態の実施 ②若年・女性人材の確保・育成 女性や障がいのある方など多様な人材の勤務環境改善に取り組むとともに、国や他事業者等の動向を調査しながら、新たな雇用形態の実施や多様な人材の確保について新たな取組を検討しました。	①新たな雇用形態の実施 ②若年・女性人材の確保・育成 全国的にバス乗務員等の人材不足が課題となっている中、安定した運行体制を維持していくため、引き続き、労働力の確保に向け検討を進めます。 人材確保のため、募集体制の強化を進めます。 【課題・検討事項】 ○大型二種免許取得者の新規取得者の減少及び高齢化 ○バス運転者の労働時間改善の基準改正	①新たな雇用形態の実施 他都市の状況や、正職員の退職者不補充による将来的な影響を調査します。 ②若年・女性人材の確保・育成 女性や障がいのある方など多様な人材が働きやすい勤務環境への改善に取り組むとともに、新たな雇用形態の実施や多様な人材の確保について、国や他事業者等の動向を調査します。 ○【拡充】募集期間の延長 会計年度任用運転士の人材確保に向け、新たな募集活動に取組めます。

令和4年度 青森市自動車運送事業経営戦略フォローアップ～取組について～

施策	区分	内容	R4実績	今後の取組方針	R5 主な取組
4 市民に支えられる社会性の向上	(1) まちづくり施策との連動	<p>公営の交通事業者としての役割を踏まえ、市内のバス交通の大半を占めるバス事業者としての利点を活かしながら、以下の事項に取り組み、まちづくり施策との連携に努めます。</p> <p>①都市づくり施策との連携強化 ②観光・産業施策との連携強化 ③福祉・定住施策との連携強化 ④環境施策との連携強化</p>	<p>①都市づくり施策との連携強化 ②観光・産業施策との連携強化 ③福祉・定住施策との連携強化 ④環境施策との連携強化</p> <p>「AOPASS」のサービス開始に合わせ、まちづくり施策との連携したサービスの実施について、関係機関と協議を行いながら、検討しました。</p>	<p>①都市づくり施策との連携強化 ②観光・産業施策との連携強化 ③福祉・定住施策との連携強化 ④環境施策との連携強化</p> <p>まちづくり施策との連携したサービスの実施に取り組みます。</p>	<p>①都市づくり施策との連携強化 ②観光・産業施策との連携強化 ③福祉・定住施策との連携強化 ④環境施策との連携強化</p> <p>まちづくり施策との連携した取組を実施します。</p>
	(2) 利用者ニーズの把握・喚起	<p>お客様に便利に利用しやすいサービスを提供するため、以下の事項に取り組み、利用者ニーズの把握・喚起に努めます。</p> <p>①広聴機会の創出 ②要望・意見対応の強化 ③効果的な情報発信</p>	<p>①広聴機会の創出 「AOPASS」のサービスや学生の定期券新設に合わせ市内高校でアンケート調査を実施しました。 ※調査実施高校 1校 ○【新規】バス利用促進調査を実施 バス運行の利便性の向上や、より分かりやすい運行情報の提供等の調査を実施し、ニーズの把握に取り組みました。</p> <p>②要望・意見対応の強化 ドライブレコーダーを活用した対応とともに、遅延などの問い合わせの対応に、新たに導入するバスロケーションシステムを活用するなど、ICTを活用した対応の強化に取り組みました。</p> <p>③効果的な情報発信 新たにアオモライブによる情報発信を実施するなど、多様な媒体を活用し、効果的な情報発信に取り組みました。</p>	<p>①広聴機会の創出 多様な広聴機会を通じて、ニーズの把握に努めます。</p> <p>②要望・意見対応の強化 意見・要望に対する改善度や満足度の強化を図られるよう取組を進めます。</p> <p>③効果的な情報発信 新たな情報発信の手法を検討しながら、引き続き、効果的な情報発信に取り組みます。</p>	<p>①広聴機会の創出 バス利用促進調査を実施し、ニーズの把握に取り組みます。</p> <p>②要望・意見対応の強化 ドライブレコーダーを活用した対応とともに、遅延などの問い合わせの対応に、バスロケーションシステムを活用するなど、ICTを活用した対応の強化に取り組みます。</p> <p>③効果的な情報発信 SNSによる情報発信を実施するなど、多様な媒体を活用し、効果的な情報発信に取り組みます。</p>
	(3) モビリティマネジメントの推進	<p>厳しい経営状況にある市営バスが、継続して「市民の足」としての役割を担っていくためには、一人でも多くのお客様に市営バスを利用していただくことが必要であることから、以下の事項に取り組み、自家用車からバス利用への自発的な行動変化を促すモビリティマネジメントを推進します。</p> <p>①学校教育との連携 ②企業等との連携 ③市営バスへの愛着醸成</p>	<p>①学校教育との連携 ○【新規】バスロケーションシステムワークショップの開催 市内小学生を対象に、バスロケーションシステムに実際に使用するGPS車載器の製作ワークショップ「バスロケーションシステムを作ろう」を開催しました。 ○「公共バス利用促進教室」の開催 市内高校において出前講座を実施するなど、学校教育と連携したバス利用の意識醸成に取り組みました。 ※教室開催高校 1校</p> <p>②企業等との連携 広告営業時に利用促進に向けた意見を伺うなど、企業等と連携したバス利用の意識醸成に努めました。</p> <p>③市営バスへの愛着醸成 保育園児や小学生などへの、乗車体験や就業体験教室を通じて、市営バスへの愛着醸成に取り組みました。 ※就業体験教室 2回</p> <p>※イベント参加 ・7月 ジョブキッズあおもり2022 ・9月 バスの日まつり</p>	<p>①学校教育との連携 利用促進に向けて、幼少期から高等教育段階まで継続してバス利用の意識醸成に取り組むなど、学校教育との連携強化を図ります。</p> <p>②企業等との連携 企業等と連携した職場等のモビリティマネジメントの普及に努めます。</p> <p>③市営バスへの愛着醸成 多様なイベントや体験教室等を通じて市営バスへの愛着醸成に取り組めます。</p>	<p>①学校教育との連携 ○大学生に対するチラシ配布 学期定期や・AOPASSのサービス内容の情報提供及び利用促進のチラシを作成し、大学生に配布します。</p> <p>②企業等との連携 企業等への訪問を行い、モビリティマネジメントによる利用促進に努めます。</p> <p>③市営バスへの愛着醸成 市営バスへの愛着の醸成を図るため、各種イベントに参加するなど、様々な機会を通じ市営バスの就業体験等の教室を実施します。</p> <p>○【新規】ICTを活用したバスの乗り方教室の開催 高齢者を対象とした「AOPASS」、「バスロケーションシステム」、「あおもり マイ時刻表」等ICTを活用したサービスを体験できる利用教室を開催します。</p>